

登山部の上位大会（関東大会、インターハイ）参加について（案）

学校安全課・スポーツ振興課

1 趣旨

登山部の上位大会については、県高体連登山専門部が主催する県内大会の成績等を基に参加校を決定してきたが、令和3（2021）年7月に登山専門部は、県内大会を実施しないこととし、登山専門部で推薦委員会を行い、書類選考により審査することとした。

上位大会参加校を決定するにあたり、以下のとおり検討を行ったものである。

2 上位大会の概要

(1) 全国高等学校総合体育大会登山競技大会（インターハイ）

主催（公財）全国高等学校体育連盟（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会

開催県 開催県教育委員会 等

主管（公財）全国高体連登山専門部 開催県高体連

開催県山岳・スポーツクライミング連盟

審査基準 体力(40)、歩行技術(10)、装備(10)、設営・撤収(5)、炊事(5)、天気図(4)、自然観察(4)、救急(4)、気象(4)、記録・計画(4)、読図(5)、マナー(5)の各項目(計100点満点)で審査が行われ、その得点で競われる。

体力の配点は高いが、スピードを競うものではなく、パーティーのペースを保つ力等に主眼を置いて審査している。

大会ではコースのポイントごとに多数の役員が配置され、緊急時や救護について速やかに対応できる体制が整っている。

【開催状況】

開催年	開催都道府県	山域	標高
R 2 (2020)	群馬県	玉原越、上州武尊山、尾瀬アヤマ平 大会中止	2,158m
R 3 (2021)	福井県	三頭山・取立山	1,307m
R 4 (2022)	香川県	笠形山・竜王山・大川山	1,060m

(2) 関東高等学校登山大会

主催 関東高等学校体育連盟 開催県教育委員会

主管 関東高体連登山専門部 開催県高体連 開催県高体連登山専門部

審査基準等はインターハイとおおむね同様

【開催状況】

開催年	開催都道府県	山域	標高
R 2 (2020)	山梨県	八ヶ岳山域（編笠山、権現岳、三ツ頭） 大会中止	2,715m
R 3 (2021)	神奈川県	箱根山域（金時山・丸岳・明神ヶ岳・浅間山） 大会中止	1,212m
R 4 (2022)	東京都	天上山周辺	572m

3 上位大会に安全に参加するための審査のポイント

- ①上位大会の安全対策が十分に行われていること。
- ②上位大会の参加校としてふさわしい体力や技術を選手が身に付けていること。
- ③外部有識者を含めた複眼的な審査体制を確保すること。

4 対応案

県高体連登山専門部、県教育委員会、外部有識者が関わり、大会の安全性や選手の体力、技術が身に付いていることを確認した上で参加校を決定する。

参加校決定の手順は以下のとおり。

【参加校決定の手順】

